

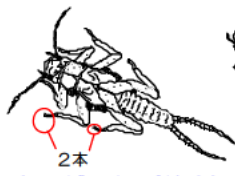
水生生物と水の関係

川には、魚のほかにも、カワムシと呼ばれるいろいろな生きものがすんでいます。カワムシは、水の汚れや水温・流れの速さ・底石・周りの植物などのちがいにより、すんでいる種類がかわります。カワムシの名前を調べるのは大変ですが、川環境を知るための手がかりになります。

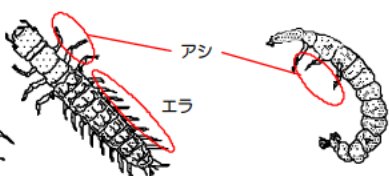
きれいな水
少し汚れた水
汚れた水
ひどく汚れた水



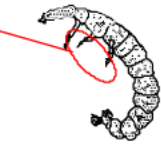
ウズムシ
ヒルににるが、ふしが
ない。体長 3cm。



カワゲラ類 (幼虫)
あしのツメ2本
尾2本
体長 1~3cm。



ヘイトンポ (幼虫)
あし6本。体の後ろ
にヒラヒラしたエラ
体長 5cm。



トビケラ類 (幼虫)
体はイモムシ型。あし
6本。小石や葉で巣を
作り入る。体長 1~4cm。



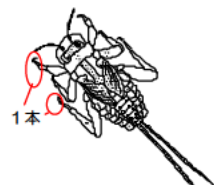
ヨコエビ
体長 1cm。



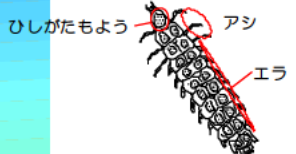
フユ類 (幼虫)
体長 0.6cm。



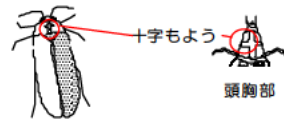
アミカ類 (幼虫)
体長 1cm。



ヒラタカゲロウ (幼虫)
羽のものがある。
あしのツメ1本。
尾は2~3本。
体長 0.7~1.5cm。



ゲンシボタル (幼虫)
胸にひし形の模様。胸に十字の模様。
カワニナを食べる。体長 1.5cm。
体長 3cm。



ヘイケボタル (成虫)
胸に十字の模様。体長 0.8cm。
カワニナを
食べる。
体長 1.7cm。



カワニナ
からは右巻きで先が
欠ける。殻高 3cm。



モノアラガイ
からは右巻きで
うすい。殻高 2cm。



タイコウチ (成虫)
尾の管で息をする。体長 3.5cm。
よくにたタガメは体長 6cm。
ストロー状の口で魚の体液をすう。

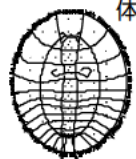
さきで2本
に分かれる



マダラカゲロウ (幼虫)
体長 0.8~1.2cm。



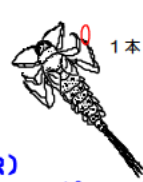
トンボ類 (幼虫)
3本の尾。体長 2~4cm。



ヒラタドロムシ (幼虫)
体は丸く平たい。体長 1cm。



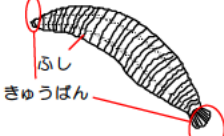
体の青いユスリカ (幼虫)
体長 0.7~2cm。



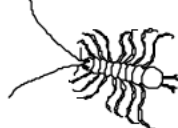
コカゲロウ (幼虫)
体長 0.7cm。



サカマキガイ
からは左巻きでうすい。
殻高 1cm。



シマイシビル
ふしときゅうばんがある。
全長 4cm。



ミズムシ
体長 1cm。



イトミミズ
全長 2cm。



シマハナアブ (幼虫)
体長 2cm。



体の赤いユスリカ (幼虫)
体はイモムシ型。足なし。
体長 0.7~2cm。



水生昆虫の一生

トンボ、カゲロウ、ホタル、カワゲラのなかまは、幼虫の時代を水中で過ごし、脱皮して成虫になると(羽化)、水から出て陸上で生活します。初夏に羽化する種類が多く、夏は水中で水生昆虫を見つけにくくなります。タイコウチのなかま(水生カメムシ)は、成虫も水中でくらしします。



採魚
川
採魚
す
採魚



三重県
科学技術振興センター 水産研究部
鈴鹿水産研究室
鈴鹿市白子1丁目6277-4 0593-86-0163

カワムシの絵 水野知巳